

平成 31 年度（2019 年度） 県立大子清流高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である (3) ☐ B おおむね妥当である (1) ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・少子化の中で受け入れた生徒個々を最大限に伸ばす取組に力を入れていることは評価できる。 ・よく頑張っている様子が分った。 ・学校経営方針に沿って各教職員が熱心に取り組んでいることが分った。 捉えた課題を次年度に生かしてほしいと思う。 ・特別活動が総学や道徳と混同されている気がする。整理し連携できるようにした方がよい。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である (3) ☐ B おおむね妥当である (1) ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・教職員も目標達成に向け、熱心に取り組んでいることは評価できる。 ・教職員が生徒一人一人を大切にして指導している成果だと思う。 ・今後は具体的な数値目標を示すと更に明確になると思う。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☐ A 十分把握している (1) ☒ B おおむね把握している (3) ☐ C あまり把握していない ☐ D 把握していない	・中学校卒業者の減少の中、生徒確保に力を注いでいる。 ・生徒個々に応じた指導を大切にしている。 ・さらに具体的な言葉で記入されるとよい。 ・配付された資料の内容から大体は把握できた。 ・地元中学校の生徒が中心になるので、課題を共有したい。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☒ A 適切である (2) ☒ B おおむね適切である (2) ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	・課題をしっかり把握し、次年度に向けた姿勢がうかがえる。 ・学校存続のため多方面からアイデアを出していきたい。 ・町や小中学校が未来の課題を共有するとともに、大子清流高校で実現できる可能性を拡げてほしいと思う。